

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	小学生	心身ともに調和のとれた人間として成長し、他人を思いやる心や豊かな人間性をはぐくむ。
現状・課題	現在実施していない大規模校（中野、平野、高社）について、学年別に曜日を変更したり遊び方の工夫等で全ての小学校で実施できるよう検討が必要。また、支援スタッフを確保する。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	放課後子ども総合プラン推進事業の実施について （文部科学省・厚生労働省・関係局長連名通知）
事務事業概要	地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ、生活体験、自然体験、芸術・文化体験を通じての遊びや学習をする。	
令和3年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	放課後児童教育の実施	4教室 101回

事業イン プット コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	1,380,000	3,969,000	2,604,000
		補正・流用等	円			－
		合計	円	1,380,000	3,969,000	2,604,000
	決算（見込）額 A		円	1,127,062	3,969,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円	192,000	1,086,000	0
		市債	円			
		その他特定財源	円	244,800	144,000	642,000
	R2は予算額	一般財源	円	690,262	2,739,000	1,962,000
	正規職員数		人	0.36	0.26	0.25
	人件費 B		円	2,319,120	1,682,200	2,206,500
総事業費 A＋B		円	3,446,182	5,651,200	4,810,500	
市民 1 人当たりコスト		円	81	133	114	

成果指標	アウトカム	方向		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
登録児童が利用した割合		維持	目標	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	100.0	%	100.0	%	—	
実施小学校数		維持	目標	9	校	5	校	4	校
			成果	9	校	5	校	—	
成果指標と目標値を設定した理由	登録した児童すべてが利用できるようにするため。								

令和３年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	活動教室数は小学校統合により減少するが、異年齢での活動で社会性や協調性が身につけられるため、順次、大規模校で実施できるよう小学校と協議を継続していく。						

